

社会情勢の変化の整理 (資料2)

| | 自然環境、生物多様性 | 気候変動、エネルギー | 資源循環 | 環境学習、ESD |
|-----|--|--|--|---|
| 世界 | <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な開発目標 (SDGs) (平成27年9月採択、平成28年開始) ポスト2020生物多様性枠組み (令和4年12月採択予定) | <ul style="list-style-type: none"> パリ協定 (平成30年11月発効) グラスゴー合意 (国連気候変動枠組条約第25回締約国会議〔COP25〕) (令和3年11月採択) IPCC1.5°C特別報告書 (平成30年10月公表) IPCC第6次評価報告書 (令和3年8月以降) | <ul style="list-style-type: none"> G7富山環境大臣会合「富山物質循環フレームワーク」 (平成28年5月採択) | <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な開発のための教育：SDGs実現に向けて (ESD for 2030) (令和元年11月採択) |
| 国 | <ul style="list-style-type: none"> 第五次環境基本計画 (平成30年4月策定) 生物多様性国家戦略2012-2020 (平成24年9月策定、令和4年度改定予定) 都市緑地保全法・都市公園法・生産緑地法の改正 (平成29年6月施行) 生物多様性に配慮した緑の基本計画策定の手引き (国土交通省) (令和元年7月) グリーンインフラ推進戦略 (国土交通省) (令和元年7月) 30by30ロードマップ (令和4年4月) | <ul style="list-style-type: none"> 気候変動適応計画 (平成30年11月策定) 2050年カーボンニュートラル (脱炭素化) 宣言 (令和2年10月) 地球温暖化対策推進法 (令和3年5月成立) 2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略 (令和3年6月公表) 地域脱炭素ロードマップ (令和3年6月公表) 地球温暖化対策計画 (令和3年10月策定) 再生可能エネルギーの固定価格買取制度 (FIT) の見直し (再エネ特措法改正) (令和4年4月) | <ul style="list-style-type: none"> プラスチック資源循環戦略 (令和元年5月策定) 第四次循環型社会形成推進基本計画 (平成30年6月策定) 食品ロス削減推進法 (令和元年10月施行) プラスチック資源循環促進法 (令和4年4月施行) | <ul style="list-style-type: none"> 環境教育等促進法 (平成24年10月施行) 学習指導要領におけるESD (幼稚園教育要領及び小・中学校学習指導要領：平成29年3月公示、高等学校学習指導要領平成30年3月公示) |
| 東京都 | <ul style="list-style-type: none"> 東京都環境基本計画 (平成28年3月策定、令和4年9月策定) 緑施策の新展開～生物多様性の保全に向けた基本戦略～ (平成24年5月策定) 東京都生物多様性地域戦略改定ゼロドラフト (令和3年8月公表) 東京都生物多様性地域戦略 (令和4年冬改定予定) | <ul style="list-style-type: none"> ゼロエミッション東京戦略 (令和元年12月策定) ゼロエミッション東京戦略2020 Update & Report (令和3年3月公表) 東京都気候変動適応計画 (令和3年3月策定) 2030年カーボンハーフに向けた取組の加速 (令和4年2月策定) カーボンハーフ実現に向けた条例制度改正の基本方針 (令和4年9月策定) | <ul style="list-style-type: none"> 東京都食品ロス削減推進計画 (令和2年11月策定) | |
| 多摩市 | <ul style="list-style-type: none"> 多摩市みどりと環境基本計画 (平成24年6月策定) 多摩市みどりのルネッサンスの取り組み (平成27年3月策定) 多摩市生物多様性ガイドライン (平成29年8月策定) 多摩市公園緑地長寿命化計画 (平成30年5月策定) 現在改定中 | <ul style="list-style-type: none"> 多摩市地球温暖化対策実行計画 (公共施設編) (平成25年3月策定、平成30年3月中間見直し) 多摩市気候非常事態宣言 (令和2年6月) (仮) 多摩市再生可能エネルギービジョン (現在策定中) | <ul style="list-style-type: none"> 多摩市役所庁内におけるプラスチック削減方針 (令和2年5月策定) 多摩市プラスチック削減方針 (令和4年2月策定) 多摩市一般廃棄物処理基本計画 (平成25年3月策定・平成30年改定) 来年新たに策 | |

社会情勢の変化の整理（資料2）

| 分野 | 要点 |
|------------|--|
| 全般 | <ul style="list-style-type: none">平成27（2015）年に採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」を踏まえ、環境施策は貧困対策や雇用対策など社会・経済問題と緊密に連携し、その統合的向上を目指すことが明らかにされました。「第5次環境基本計画」においても、次世代に引き継げる「循環共生型社会」（環境・生命文明社会）を目指すため、SDGsの考え方も活用し環境・経済・社会の統合的向上の具現化を推進するものとしています。従来の環境問題対応型の環境政策から経済社会システム、ライフスタイル、技術といったあらゆる観点からイノベーションを創出し、社会・経済課題の同時解決していく視点が重要となっています。 |
| 自然環境、生物多様性 | <ul style="list-style-type: none">生物多様性の恵みを受け続けられる、自然と共生する豊かな社会の実現に向けて、みどりの保全・管理にあたり、行動と決定の中心に生物多様性の保全の考え方を取り入れていくことが求められます。 ⇒生物多様性地域戦略の策定都市のみどりについては、OECDのように、市民団体や企業などが関与して保全・管理する仕組みが広がる可能性も視野に、施策を検討する必要がある。都市緑地法等の改正により、民間活力の活用方策の選択肢が増えたことを受け、市内での公園緑地や都市農地の保全・管理のための施策を見直すことが期待されます。 |
| 気候変動、エネルギー | <ul style="list-style-type: none">2050年までに二酸化炭素（CO2）排出実質ゼロの実現に向けて、省エネ対策の徹底、再生可能エネルギーの加速度的な普及拡大に加えて、ライフスタイルを含む社会の変革や一人ひとりの行動変容につなげていくことが求められています。2030年までの行動が極めて重要であることを認識し、東京都が提唱する「2030カーボンハーフスタイル」を踏まえ、多摩市の施策を構築することが必要です。 ⇒次期計画に地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定温室効果ガスの排出を削減する緩和策に加えて、気候変動の影響による自然災害の被害を回避・軽減する適応策にも取り組んでいくことが必要となっている。防災減災対策に対するみどりの機能を生かすグリーンインフラや、気候変動による生態系への影響など、気候変動とみどりとの関係に着目することも必要です。 ⇒次期計画に地域気候変動適応計画の策定 |
| 資源循環 | <ul style="list-style-type: none">使い捨てプラスチックの使用・廃棄が、海洋プラスチックごみ、廃プラスチックの焼却の過程でのCO2の排出の問題につながるため、プラスチック資源循環の取組みが求められています。また、食品ロスの削減に向け、リデュースを基調とした、行政・消費者・事業者・関係団体が一丸となった対策が求められています。資源等の調達、製造、流通、消費者による使用、廃棄・リサイクル等というサプライチェーンのあらゆる段階を視野に入れた資源循環に取り組むことは、気候変動対策や生物多様性保全にも寄与するものであり、持続可能な資源利用に貢献することが求められています。 |
| 環境学習、ESD | <ul style="list-style-type: none">これまで多摩市の公立小中学校で取り組んできた持続可能な開発のための教育：ESDはSDGsと関連づくものであり、気候非常事態宣言を踏まえた学びの機会を提供していくことがますます重要となっています。エシカル消費や河川清掃等プラスチック問題の取組みとも関連させながら、生物多様性の保全の大切さの意義を浸透させるなど、一人ひとりの行動変容やライフスタイルの変革につなげていくことが求められます。 |